



～ PROFILE ～

氏名：横野 純貴 (よこの じゅんき)

出身：北広島市

スポーツ振興を担当

十勝からJリーグ参入を目指すサッカークラブ「北海道十勝スカイアース」の選手として活躍中

これまでの経歴を教えてください！

最初は野球少年でしたが、コンサドーレ札幌の試合を見たことをきっかけに、小学3年生からサッカーを始めました。中学時代は江別市のクラブチーム、高校時代はコンサドーレ札幌U-18でプレーし、高校卒業と同時にプロサッカー選手になりました。コンサドーレ札幌で7年プレーした後、国内外のチームを渡り歩き、昨年から「北海道十勝スカイアース」でプレーしています。



なぜ地域おこし協力隊に？

前に所属していたチームと契約満了となるタイミングで現在所属しているチームからオファーを頂きました。年齢的にも引退を考えていましたが、同じタイミングで芽室町のスポーツ振興を担当する地域おこし協力隊が卒業することによって、サッカーを続けながら、サッカーと関係のない方々と一緒に仕事をして社会貢献ができるチャンスはなかなか無いなと思い、チームからのオファーを受け、地域おこし協力隊として活動させていただくことになりました。

地域おこし協力隊として役場勤務になったことで、今後、社会に出ていくために最低限必要なスキルを学ばせてもらっています。今までパソコンを使うことがほとんどなくて、着任してすぐは指1本でキーボードを打っていました(笑)それが今では両手でスラスラ、自分が講演するスライドなんかも作れるようになりました！

日々の活動を教えてください！

着任してすぐに、サッカーだけではなく幅広く活動できればと考え、活動に活かせる資格を取得しました。まず最初に取得したのが「バルシューレ」の指導ライセンス。150種類のボール遊びで、子どもが遊びの中で体の動作を身につけるボール運動です。次に取得したのが「ライフキネティック」のトレーナー資格。運動と脳トレを組み合わせエクササイズで、幼児からシニア年代まで幅広い世代で取り組むことができます。取得した資格を活かして、子ども向けのサッカー教室はもちろん、高齢者の健康増進を目的とした運動教室など、幅広く活動させてもらっています。

ほかには、老人クラブにお邪魔して、芽室町発祥のゲートボールを高齢者の方に教えてもらいながら一緒にやったり、町内の学校の体力測定に参加して、子どもたちと一緒にシャトルランを走ったりしています。子どもたちは自分より早い人と走ることで、負けないぞ！という気持ちになってくれるのか、以前よりも記録が伸びています。



今後の展望を教えてください！

プロスポーツ選手のセカンドキャリア問題があって、サッカー選手の場合は、サッカースクールを立ち上げたり、クラブチームのスタッフとして就職したりすることが多いんですが、これからは、地域おこし協力隊も選択肢の一つとして有りだと思っています。最近では部活動の地域移行の課題があったりして、プロスポーツ選手が地域おこし協力隊としてスポーツと教育を重ねて地域で活動することができたら、その地域は活性化するんじゃないかと考えています。プロスポーツ選手が自分の分野のスポーツ教室はもちろんですが、運動に関する教室とかそういった活動をすると思得力があると思うんです。この任期中にいろんな活動をして、そういった人たちの良いモデルケースとなって、他の人たちにも真似してほしいです。



任期終了後はいろんな選択肢がありますが、どこに行っても大丈夫なように、たくさん経験を積みたいです。もし芽室町で起業できたら、今の活動と同じように年齢問わずいろんな年代を対象にした教室をやりたいし、十勝管内をまわって活動したいですね。